

20-1. 自己同型群・固定体. 体の拡大 L/K に対し、
 $G := \text{Aut}(L/K) = \{\sigma \in \text{Aut}(L) \mid \sigma|_K = \text{id}\}$ とするとき、

- $H \subset G$: 部分群に対し、
 $L^H := \{x \in L \mid \forall \sigma \in H : \sigma(x) = x\}$: H の固定体 (fixed field)
- $M : L/K$ の中間体に対し、
 $\text{Aut}(L/M) = \{\sigma \in G \mid \forall x \in M : \sigma(x) = x\}$: L の M 上の自己同型群
- 自明に、 $\text{Aut}(L/L^H) \supset H, L^{\text{Aut}(L/M)} \supset M$

20-2. Galois 拡大. 有限次 (代数) 拡大 L/K に対し、

- L/K : Galois 拡大 (Galois extention) $\iff L/K$: 正規かつ分離的
 $\iff \#\text{Aut}(L/K) = \#\text{Emb}_K(L, \bar{K}) = [L : K] \iff L^{\text{Aut}(L/K)} = K$

L/K : Galois 拡大の時、特に $\text{Aut}(L/K)$ を $\text{Gal}(L/K)$ と書き、 L/K の Galois 群 (Galois group) と呼ぶ。

- L/K : Galois 拡大で、 $G = \text{Gal}(L/K)$ が $**$ 群である時、 L/K を $**$ 拡大と呼ぶ。
 $(** = \text{abel} \cdot \text{巡回} \cdot \text{可解} \cdot \text{冪零} \cdot p \text{ など})$

20-3. Galois 理論の基本定理. L/K を Galois 拡大、 $G := \text{Gal}(L/K)$ をその Galois 群とし、
 $\mathcal{H}_G := \{H \mid G \text{ の部分群}\}, \mathcal{M}_{L/K} := \{M \mid L/K \text{ の中間体}\}$ とおく。

$$\begin{array}{ccc} \Phi : \mathcal{M}_{L/K} \longrightarrow \mathcal{H}_G & & \Psi : \mathcal{H}_G \longrightarrow \mathcal{M}_{L/K} \\ M \longmapsto \text{Aut}(L/M) & & H \longmapsto L^H \end{array}$$

- Φ, Ψ : 共に全単射で、互いに逆写像 ($\Phi \circ \Psi = \text{id}_{\mathcal{H}_G}, \Psi \circ \Phi = \text{id}_{\mathcal{M}_{L/K}}$)
- Φ, Ψ : 共に包含関係に関して順序逆同型 ($H_i \iff M_i$ のとき、 $H_1 \subset H_2 \iff M_1 \supset M_2$)
- $H_i \iff M_i$ のとき、 $H_1 \cap H_2 \iff M_1 M_2, \langle H_1, H_2 \rangle \iff M_1 \cap M_2$
- $M \in \mathcal{M}_{L/K}$ に対し、 L/M : Galois で、 $\text{Gal}(L/M) = \Phi(H)$
- $\forall \sigma \in G$ に対し、 $\sigma H \sigma^{-1} \iff \sigma(M)$
- 特に、 $H \triangleleft G \iff M/K$: Galois で、この時、 $G/H \simeq \text{Gal}(M/K)$

Φ, Ψ による部分群と中間体との対応を Galois 対応 (Galois correspondence) と呼ぶ。

- L/K : 分離代数拡大に対し、 L の K 上の正規閉包 \tilde{L} は、 L を含む K の最小の Galois 拡大 (L/K の Galois 閉包 (Galois closure) という)

20-4. 推進定理. L/K : Galois 拡大、 M/K : 任意の体拡大 (超越でも非分離でも可) に対し、

- LM/M : Galois 拡大で、 $\text{Gal}(LM/M) \simeq \text{Gal}(L/L \cap M)$

特に、 L_1, L_2 : 共に Galois 拡大の時、

- $L_1 L_2, L_1 \cap L_2$: 共に K 上の Galois 拡大
- $\text{Gal}(L_1 L_2 / K) \simeq \{(\sigma_1, \sigma_2) \in \text{Gal}(L_1 / K) \times \text{Gal}(L_2 / K) \mid \sigma_1|_{L_1 \cap L_2} = \sigma_2|_{L_1 \cap L_2}\}$
- $\text{Gal}(L_1 L_2 / L_1 \cap L_2) \simeq \text{Gal}(L_1 / L_1 \cap L_2) \times \text{Gal}(L_2 / L_1 \cap L_2)$

20-5. 例: \mathbb{Q} の円分拡大. $n \geq 1$ に対し、 $\zeta_n \in \bar{\mathbb{Q}} : 1$ の原始 n 乗根の一つとする (例えば、 \mathbb{C} 内で考えれば $\zeta_n = e^{2\pi i/n}$ など)。

- $\mathbb{Q}(\zeta_n)/\mathbb{Q}$: \mathbb{Q} の (第 n) 円分拡大 (cyclotomic extention)。 $[\mathbb{Q}(\zeta_n) : \mathbb{Q}] = \varphi(n)$
- $\mathbb{Q}(\zeta_n)/\mathbb{Q}$: Galois 拡大で、 $\text{Gal}(\mathbb{Q}(\zeta_n)/\mathbb{Q}) \simeq (\mathbb{Z}/n\mathbb{Z})^\times$

$$(\sigma_a : \zeta_n \mapsto \zeta_n^a) \iff a \pmod n$$

20-6. 例: 有限体の拡大. p : 素数とし、 $r \geq 1, q := p^r$ とする。 $n \geq 1$ に対し、

- q 元体 \mathbb{F}_q の (唯一の) n 次拡大 $\mathbb{F}_{q^n}/\mathbb{F}_q$ は Galois 拡大で、
 $\text{Gal}(\mathbb{F}_{q^n}/\mathbb{F}_q) = \langle \text{Frob}_q \rangle \simeq \mathbb{Z}/n\mathbb{Z}$ (ここに $\text{Frob}_q : x \mapsto x^q : q$ 乗 Frobenius 写像)

特に、有限体の有限次拡大はすべて巡回拡大である。